



一宮市データ	
市長	中野 正康氏
人口	380,276人 (県内4位/昨年9月1日現在)
当初予算	1132億2千万円 (県内5位/普通会計)
財政力指数	0.84(県内42位)

※平成30年度県まとめなど。県内全54市町村



一宮市内の公立中学校に勤務しています。市内の小中学校では、体育館を「屋内運動場」と呼び、普段は「屋運」と略します。なぜこんな呼び方が定着しているのでしょうか。

一宮市木曽川町、中学校教諭桑山数馬さん(三〇)

学校体育館なぜ「屋運」?

「お、く、う、ん?」。東京出身の私も、ずっと気になってた。「体育館だろ」って。この疑問を子どもたちにぶつけてみた。

「普通だよ」「履くのは屋運シューズ!」。「じゃあ、何て呼ぶの?」。逆に切りかえされた。

ただ、市西部に行く、体育館と呼ぶ子も一部では「アリーナ」と呼ぶ学校もあった。分布を調べよう。全小中学校に片っ端から確認してみた。

地図に落とすと、「屋



「おくうん」で体育の授業をする子どもたち
一宮市大和西小で

規則通り 今は方言

小中学校の体育館の呼び方

- …おくうん
- …体育館
- …アリーナ



「運」と呼ぶのは旧一宮市域ばかり。体育館やアリーナと呼ぶのはどれも近年、施設を建て替えた学校だった。ところが旧尾西市、木曽川町は「体育館」派。唯一、屋運だった木曽川東小も昔は体育館だったそう。合併後、旧一宮市から校長が赴任し、変わったそう

「驚きの証言が出た。『国の規則は昔から体育館じゃなかった。ところが尾西市、木曽川町は「体育館」派。唯一、屋運だった木曽川東小も昔は体育館だったそう。合併後、旧一宮市から校長が赴任し、変わったそう」

「国」の法令にまず「屋内体操場」と明記されたのが昭和初期。戦後それが「屋内運動場」に変わり、今に至るという。一方で、全国の学校現場では一般に広く使われていた「体育館」が浸透。そして〇二年、ついに小中学校の設置基準にも「体育館」が登場する。

その「流れ」にあらがったのが一宮だ。法令に忠実に従い、昭和三十年以降、「屋内運動場」と呼び始めた。それが地域に根付いた。

中田さんも背中を押す。「体育館に変わっているのが普通。守り続けたのは本当に珍しいこと。文化として長く大切にしたい」

旧費国庫負担法(一九五三年制定)の施行令と「義務教育諸学校施設費国庫負担法」(五八年制定)。こ

(一宮総局・植木創太)